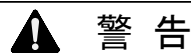


ディスポーザ

D S P — 2 5 0 H D — A W S 型

施工説明書



この説明書を読んで理解するまでは、ディスポーザの据付けおよび試運を行わないでください。

この説明書は、ディスポーザの操作または保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。

テラル株式会社

保証の限定

1. 保証期間中、正常なご使用にもかかわらず、テラル株式会社が納入した機械の設計、または工作の不備が原因で故障、破損が発生した場合に限り、その部分について無償で修理または交換をします。
2. 前項による補償範囲は、不具合部分の機械的保証までとし、その故障に起因する種々の出費およびその他の損害は補償しません。
3. 以下の故障、破損の修理は有償とさせていただきます。
 - (1) 故障、破損が当社の納入していない機器が原因で発生した場合
 - (2) 保証期間経過後の故障、破損
 - (3) 火災、天災地震等の災害および不可抗力による故障、破損
 - (4) 当社に承諾なしで実施された修理、改造による故障、破損
 - (5) 指定品以外の部品をご使用された場合の故障、破損
4. ディスポーザの誤用や乱用が原因で発生した損害についての責任は全く無いものとします。また、このことによる技術員の派遣費用は有償とさせていただきます。
5. 不具合の原因が不明確な場合は協議の上、処置を決定することとします。

本書の目的

本書の目的は、ディスポーザについて、正しい据付けおよび試運転方法を知って頂くために詳しい情報を提供することです。

また、本書はディスポーザの操作経験者または操作経験者から指導を受けた人を対象として製作しており、以下の情報を記載しております。また、配線工事は電気工事士等の資格を有する人に限定して実施してください。

目次



	(ページ)
保証の限定	1
本書の目的	2
目次	2
1. 安全について	
1. 1 警告用語の種類と意味	3
1. 2 安全に関する順守事項	3
2. ディスポーザの構成	5
3. 準備する工具	6
4. 据付け	
4. 1 吐出管(パッキン)の確認	7
4. 2 シンクフランジの取付け	8
4. 3 本体の取付け	9
4. 4 自動給水キットの据付け	10
4. 5 トラップの取付け	18
4. 6 配線の接続	24
5. 試運転	
5. 1 試運転前の確認	25
5. 2 試運転方法	25
6. 片付け	26

1. 安全について


1. 1 警告用語の種類と意味



据付説明書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。

以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意 味
 警 告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重傷を負うかもしれません。
 注 意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽症を負う場合または機器・装置が損傷する場合に使用されます。

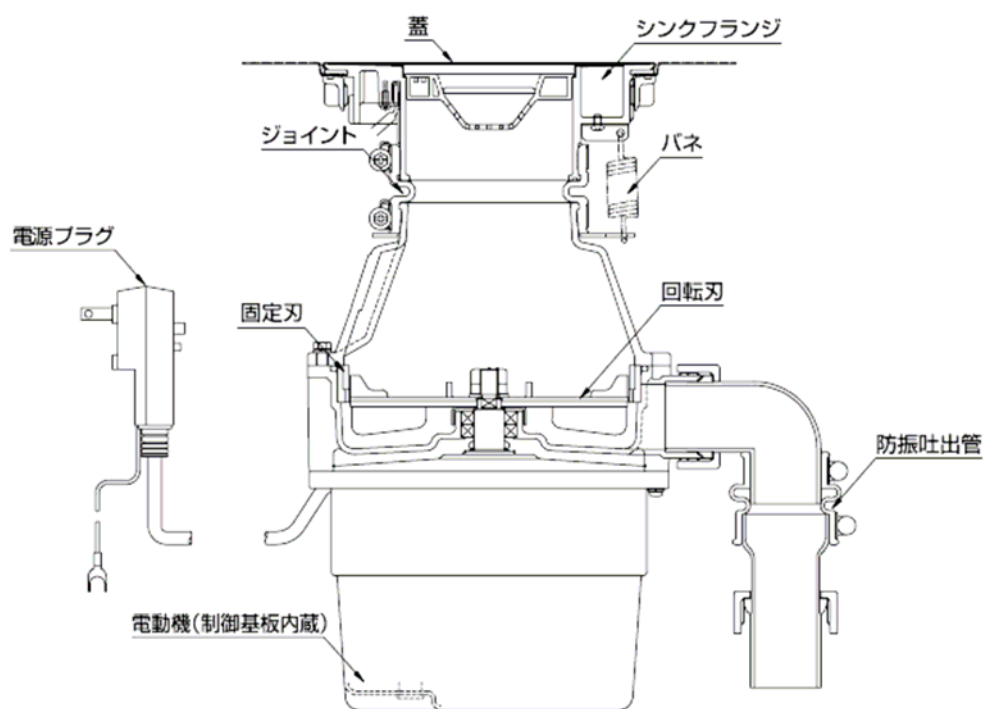
1. 2 安全に関する順守事項

	順守事項
 警 告	<ul style="list-style-type: none">・据付けは、据付説明書に従って確実に行ってください。据付けが不完全な場合は、感電・火災・故障の原因になります。・電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および据付説明書に従って、電気工事士などの有資格者が施工してください。・ケーブル類に無理な力をかけたり、加工したりしないでください。漏電・感電・火災の原因になります。・アース線の接続を必ず行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアースに接続しないでください。感電の原因になります。・ディスプレイ本体や制御盤をぬらさないでください。漏電・感電の原因になります。・ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。

<div data-bbox="280 327 515 389" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  警告 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディスポーザ内部に手を入れるときは、下記に従ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ①電源プラグをコンセントから抜く。 ②運転が停止していることを確認する。 ③厚手の手袋を着用する。 ・ 設置終了後は、設置・配線が確実にできているか確認してください。設置が不完全な場合は、本体の落下などによるけがや、火災・感電・水漏れなどの原因になります。
<div data-bbox="280 902 515 965" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  注意 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンクには60℃以上のお湯を連続的に流さないでください。配管の変形・劣化により水漏れの原因になります。 ・ ディスポーザの蓋は乱暴に扱わないでください。また落とすと破損することがあります。 ・ 配管内にごみを残さないでください。配管の詰まりの原因になります。 ・ 電源供給元には、必ず漏電遮断器を設置してください。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。 ・ 通水後は、必ず各部の水漏れ確認をしてください。

2. ディスポーザの構成

・各部の名称



・付属品 :

- ・トラップ (Pトラップ、Sトラップのいずれか)
- ・電磁弁ケーブル (1 m)

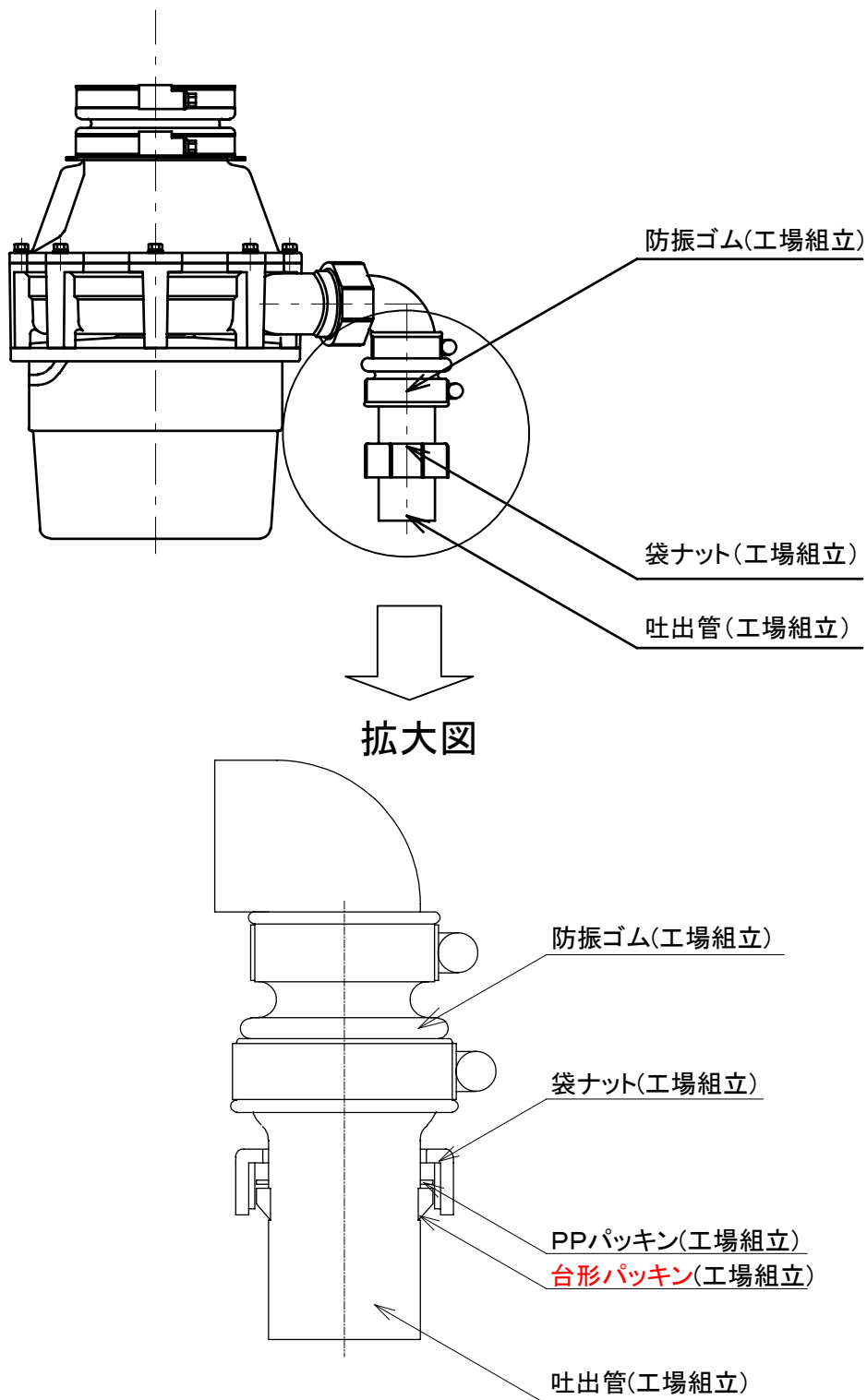


4. 据付け

以下の手順で据付けを行ってください。

4. 1 吐出管（パッキン）の確認

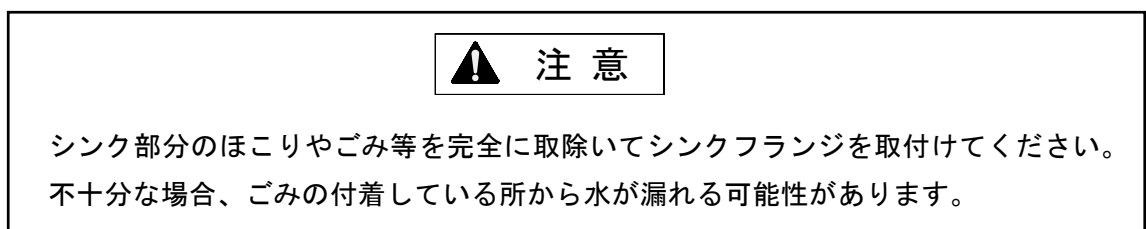
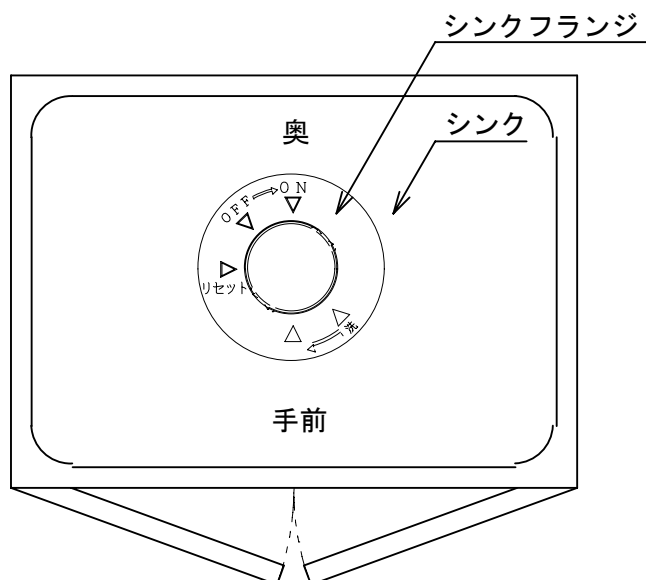
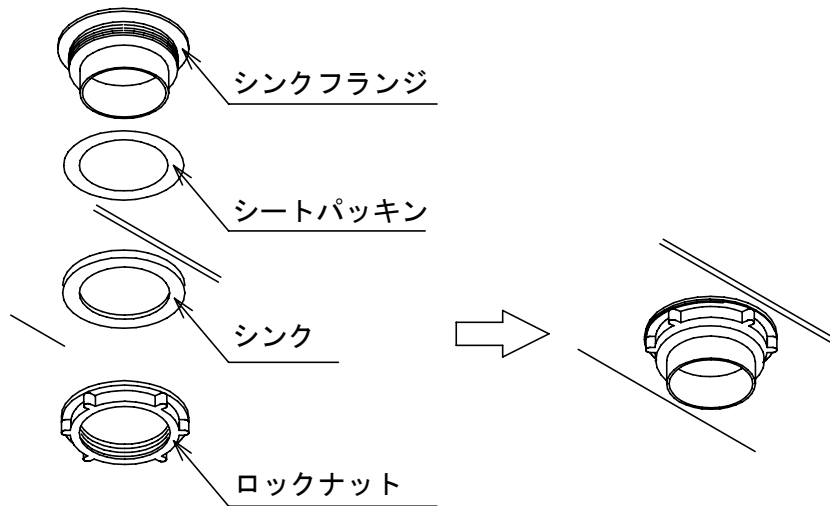
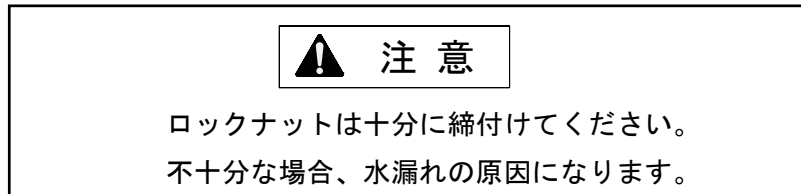
吐出管(工場にて組立済み)の袋ナットの中に台形パッキンが入っていることを確認します。



※台形パッキンは吐出管の溝にはまっています、脱落しない構造になっています。

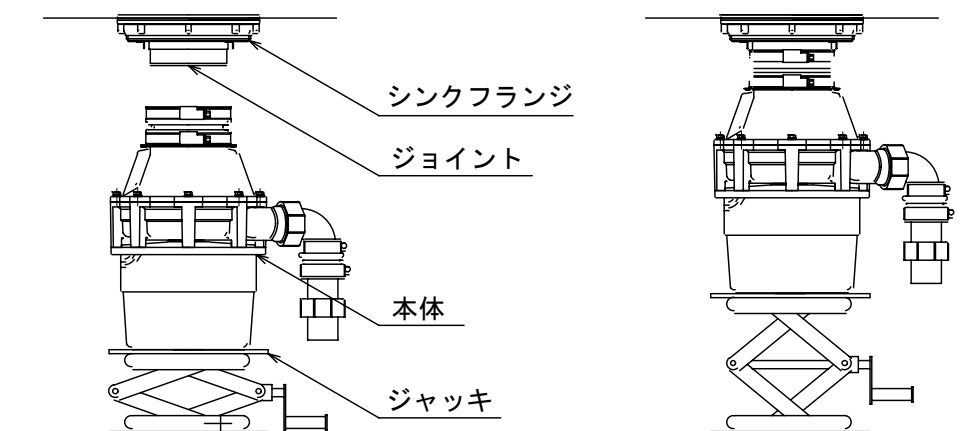
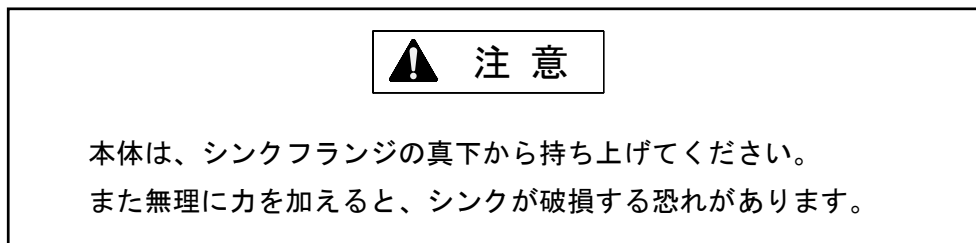
4. 2 シンクフランジの取付け

- (1) シンクの、汚れやごみなどをウエス等で拭取ってください。
- (2) シンクフランジ、パッキンにごみが付着していないことを確認してください。
シンクフランジとシンクの間にはシートパッキンをはさみ、ロックナットを締めてください。
- (3) シンクフランジの『ON』の印がシンクの正面奥側になるように取付けます。
- (4) シートパッキンがめくれたり、はみ出したりしていないことを確認し、専用の締付工具を使ってロックナットを確実に締付けてください。

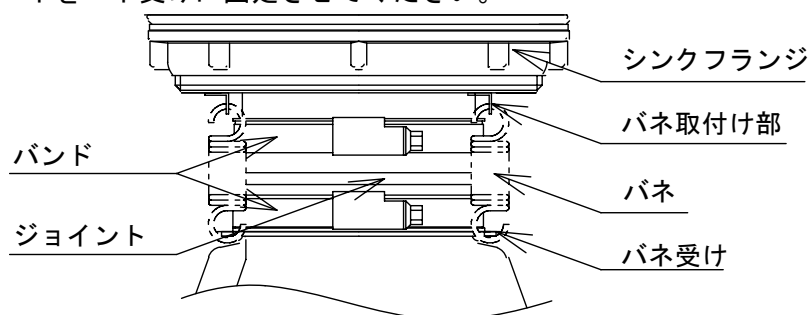


4. 3 本体の取付け

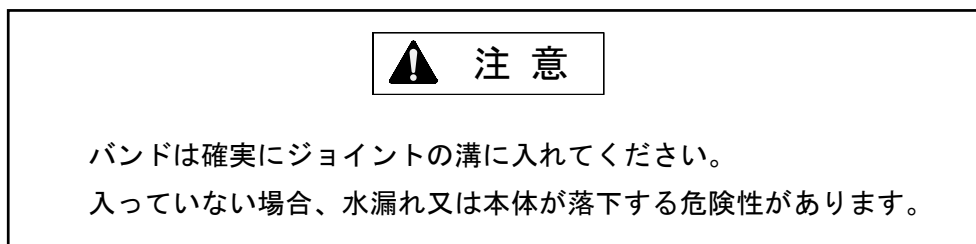
- (1) 流し台の底板に毛布などの養生をして、その上にジャッキを置いてください。
(流し台の底板が弱い場合は、厚い板を敷くなどして補強してください。)
- (2) ジャッキの上に本体を乗せて、シンクフランジの下方に置いてください。
(基本的にノズルの方向はシンクの裏側になるようにしてください。)
- (3) 本体をジャッキで押し上げ、ジョイントをシンクフランジにはめてください。
その際ジョイントの内側を水で濡らすとスムーズに入ります。



- (4) シンクフランジに設置されている3箇所のバネ取付け部にバネを引っ掛けてください。
その後、バネをバネ受けに固定させてください。



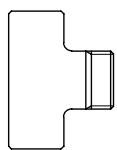
- (5) 吐出管の向きを決めて、バンドを締付けてください。
バンドが全周ジョイントの溝に入っていることを確認してください。
バンドをしっかり締付けてください。



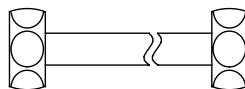
- (6) ジャッキを外してください。

4. 4 自動給水キットの据付け

(1) 次の部品があることを確認してください。



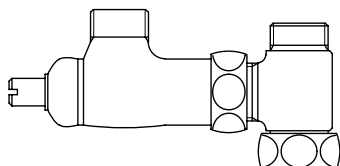
分岐チーズ
(水栓の種類により、形状が異なります)



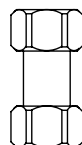
ブレードフレキ
(400L)



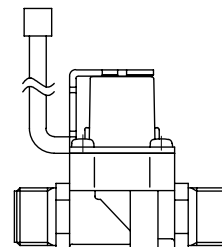
パッキン(4コ)



アングル分岐栓



両ナットユニオン



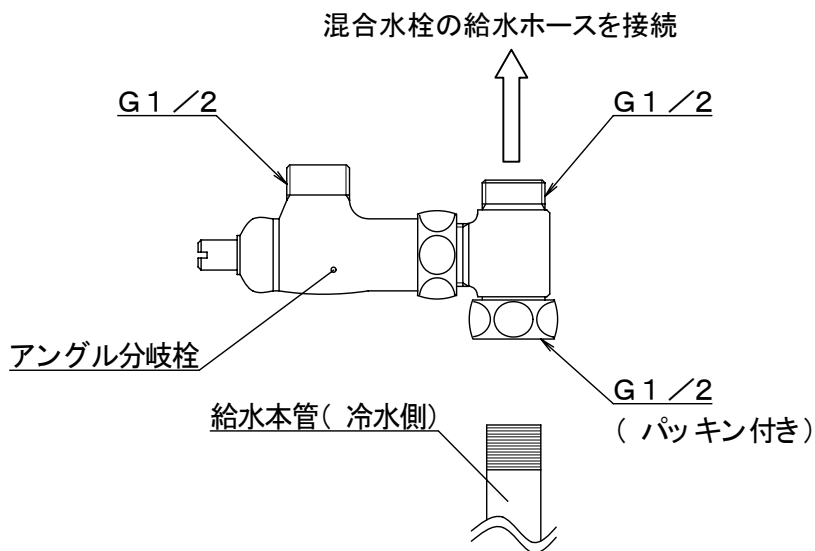
電磁弁

(2) アングル分岐栓の取り付け

①アングル分岐栓を給水本管(冷水側)に固定してください。

ナットの中に、パッキンがあることを確認してください。

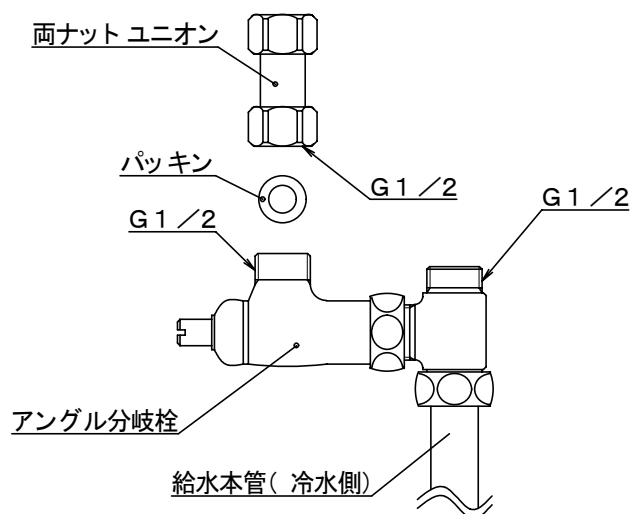
②Bのナットを締め付けてアングル分岐栓の方向を決め、固定してください。



(3) 両ナットユニオンの取り付け

両ナットユニオンをアングル分岐栓に固定してください。

必ず、パッキンを間に挟んでください。

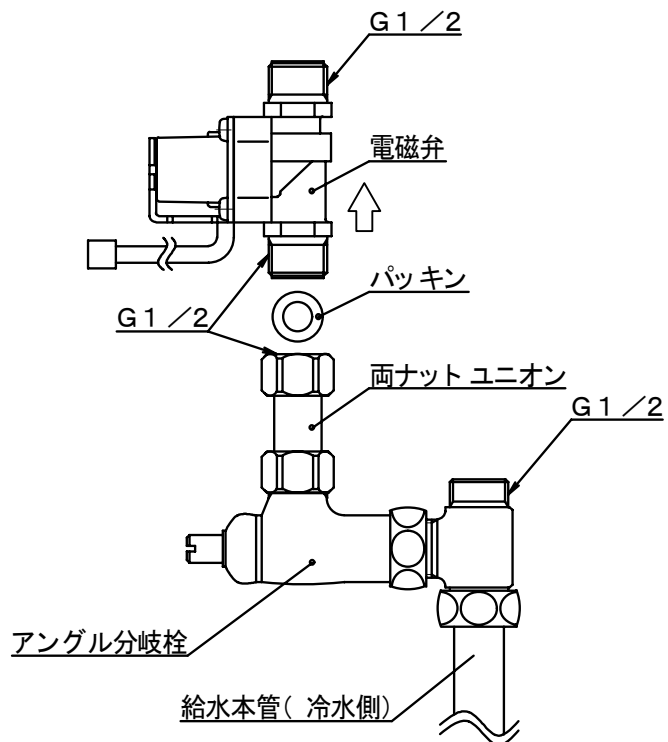


(4) 電磁弁の取り付け

電磁弁を両ナットユニオンに固定してください。

必ず、パッキンを間に挟んでください。

注意) 電磁弁には、取り付け方向があります。電磁弁の裏側に矢印が記されていますので、流れの方向に合わせて取り付けてください。

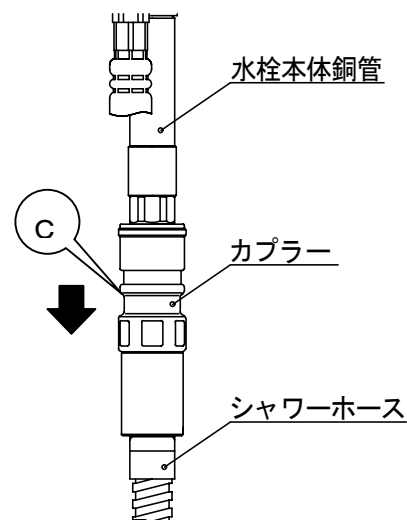


(5) 分岐チーズの取り付け

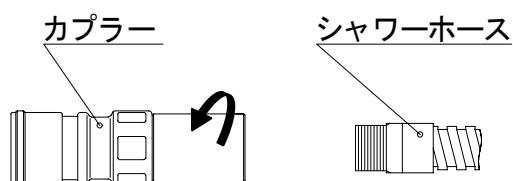
<MYM製の混合水栓の場合>

①混合水栓のシャワーホースを水栓本体から外します。

Cの部分を下げながらカプラーを下に引っ張ってください。

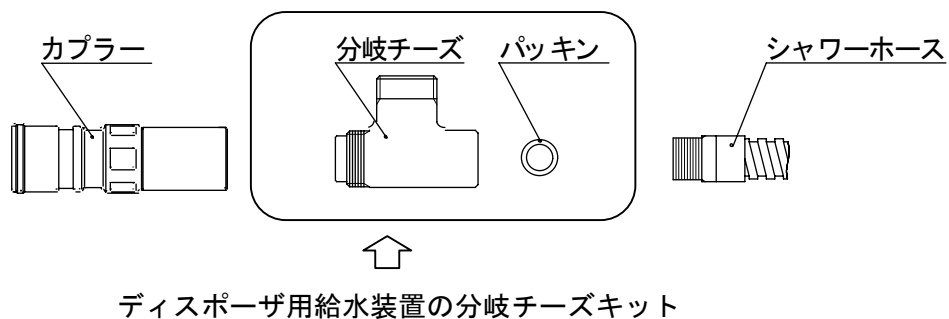


②シャワーホースから接続カプラーを外します。



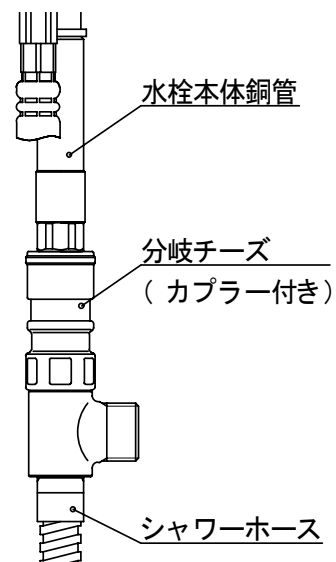
注意) シャワーホースからカプラーを取り付け/取り外しする際は、カプラー側を回してください。シャワーホースを回すと、樹脂製のホースが振れて、破損する恐れがあります。

③カプラーにディスポーザ用給水装置の分岐チーズを取り付けます。



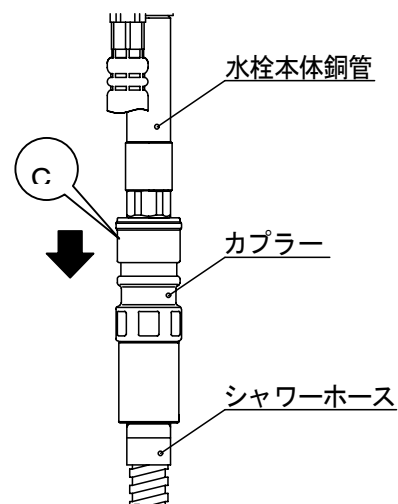
④分岐チーズ（カプラー付き）を水栓本体に取り付けます。

カプラーは「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

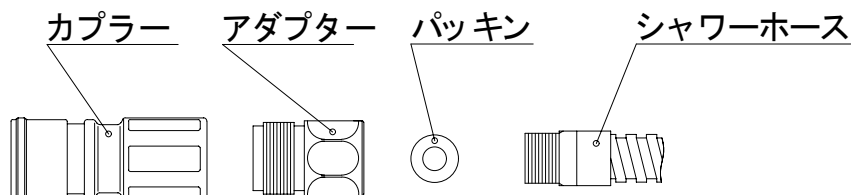


<KVK製の混合水栓の場合>

- ①混合水栓のシャワーホースを水栓本体から外します。
Cの部分を下げながらカプラーを下に引っ張ってください。



- ②シャワーホースからカプラーを外し、カプラーからアダプターを外します。

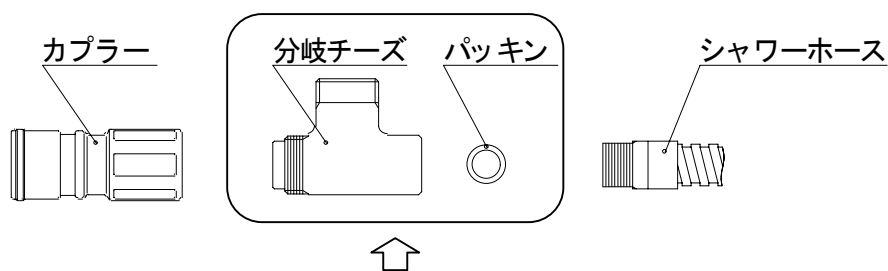


注意) ・パッキンは使用しますので、無くさないように気をつけてください。

(混合水栓に付属されていたアダプターは使用しません。)

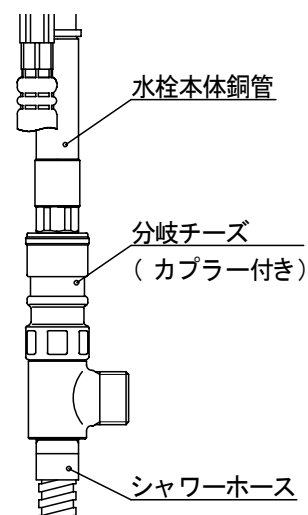
- ・シャワーホースからカプラーを取り付け/取り外しする際は、カプラー側を回してください。シャワーホースを回すと、樹脂製のホースが振れて、破損する恐れがあります。

- ③カプラーにディスポーザ用給水装置の分岐チーズを取り付けます。



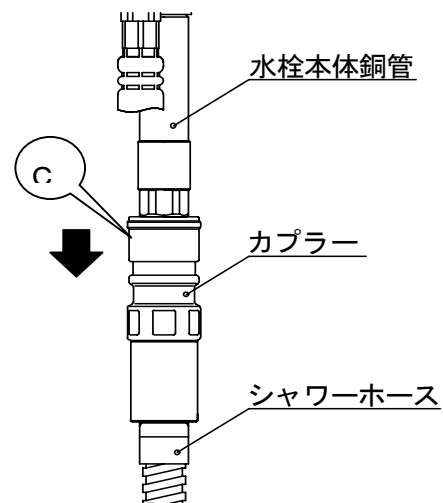
ディスポーザ用給水装置の分岐チーズキット

- ④分岐チーズ（カプラー）を水栓本体に取り付けます。
カプラーは「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

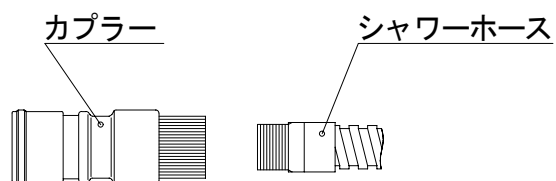


<グローエ製の混合水栓の場合>

- ①混合水栓のシャワーホースを水栓本体から外します。
Cの部分を下げながらカプラーを下に引っ張ってください。

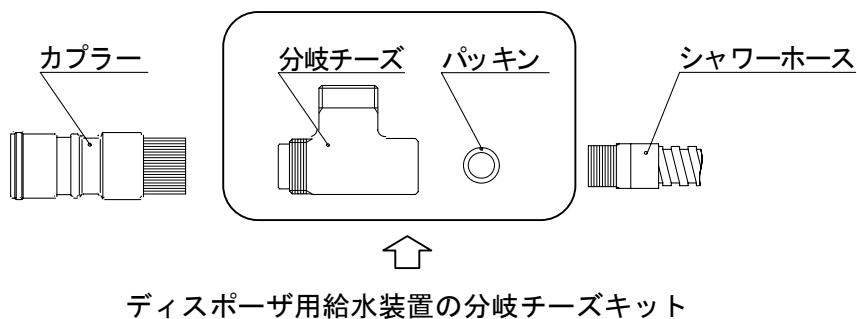


- ②シャワーホースからカプラーを外します。

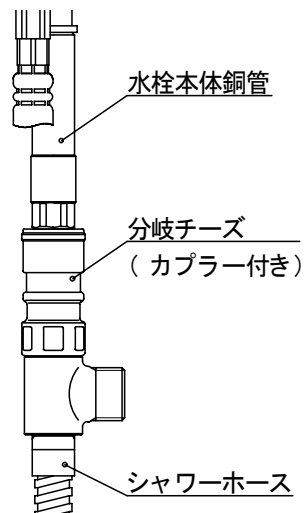


注意) シャワーホースからカプラーを取り付け/取り外しする際は、カプラー側を回してください。シャワーホースを回すと、樹脂製のホースが振れて、破損する恐れがあります。

- ③カプラーにディスプレイ用給水装置の分岐チーズを取り付けます。

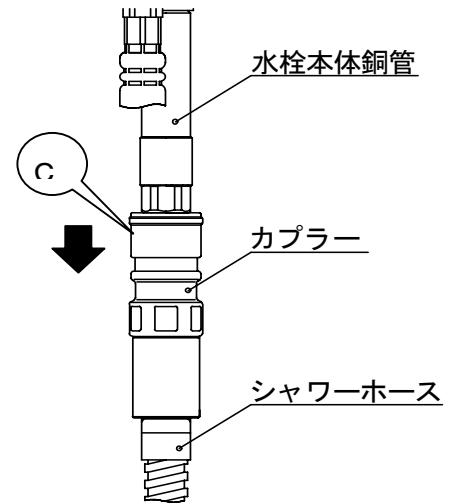


- ④分岐チーズ（カプラー）を水栓本体に取り付けます。
カプラーは「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

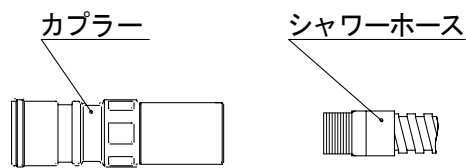


<三栄水栓製の混合水栓の場合>

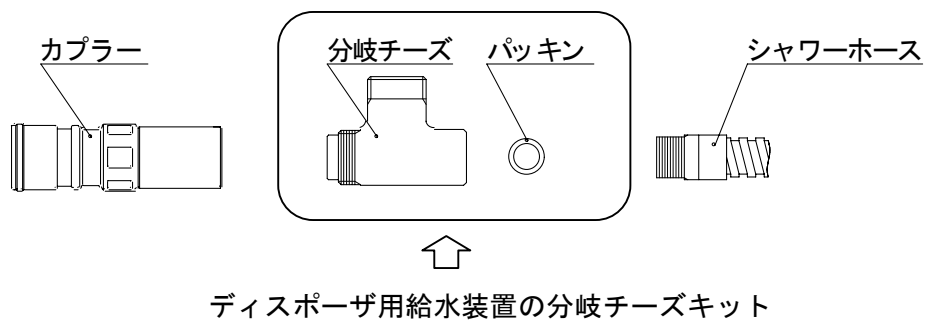
- ①混合水栓のシャワーホースを水栓本体から外します。
Cの部分を下げながらカプラーを下に引っ張ってください。



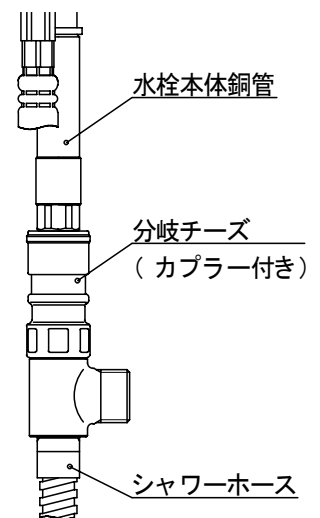
- ②シャワーホースからカプラーを外します。



- ③カプラーにディスプレイ用給水装置の分岐チーズを取り付けます。

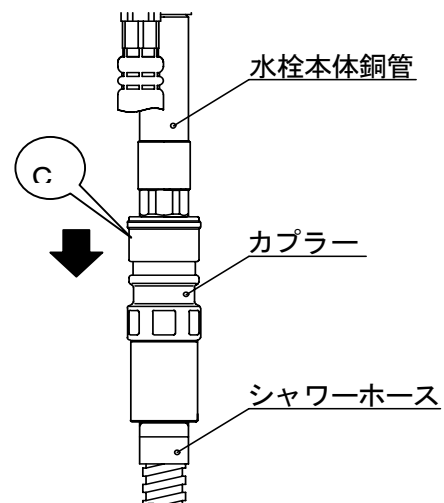


- ④分岐チーズ（カプラー）を水栓本体に取り付けます。
カプラーは「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

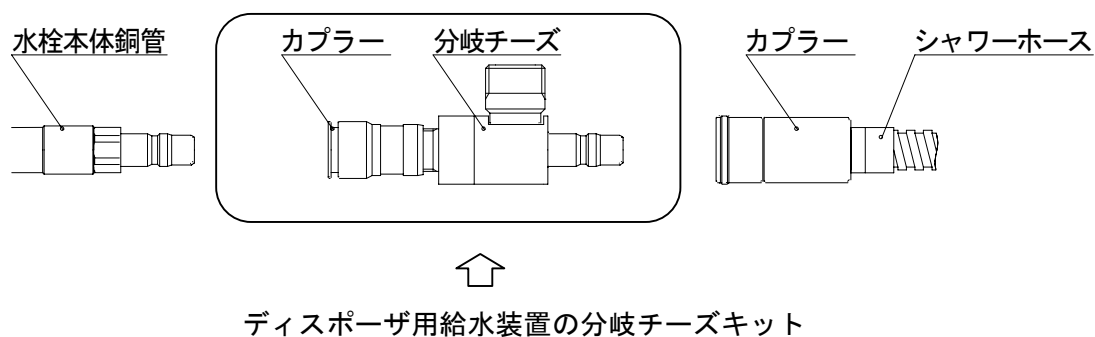


<タカギ製の混合水栓の場合>

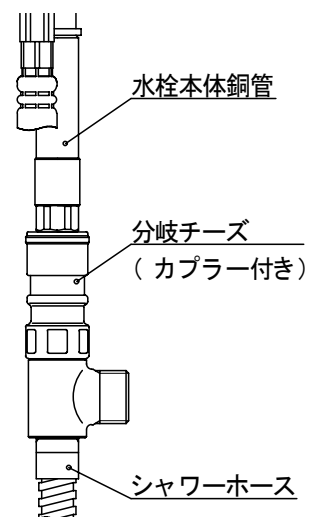
- ①混合水栓のシャワーホースを水栓本体から外します。
Cの部分を下げながらカプラーを下に引っ張ってください。



- ②カプラーにディスポーザ用給水装置の分岐チーズを取り付けます。

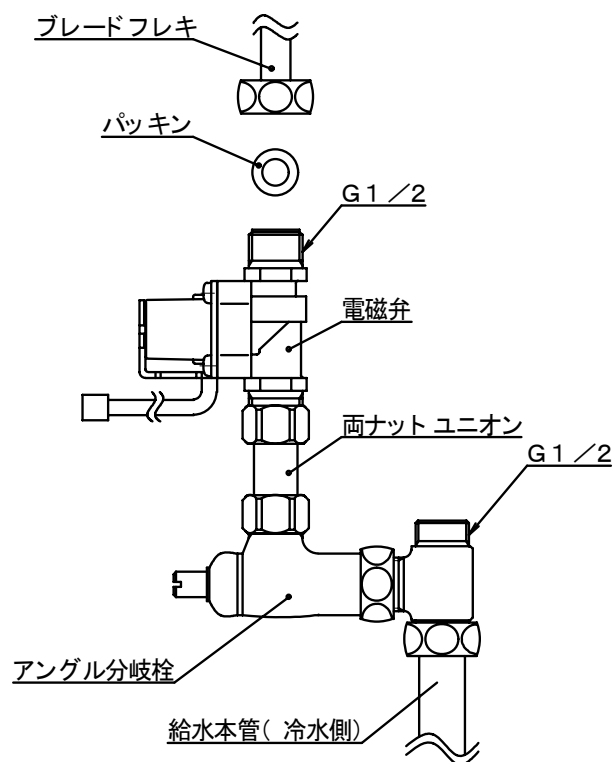


- ③分岐チーズ（カプラー）を水栓本体に取り付けます。
カプラーは「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。
分岐チーズと水栓本体銅管の間に分岐チーズキット内の
Cパッキンを取付けてください。

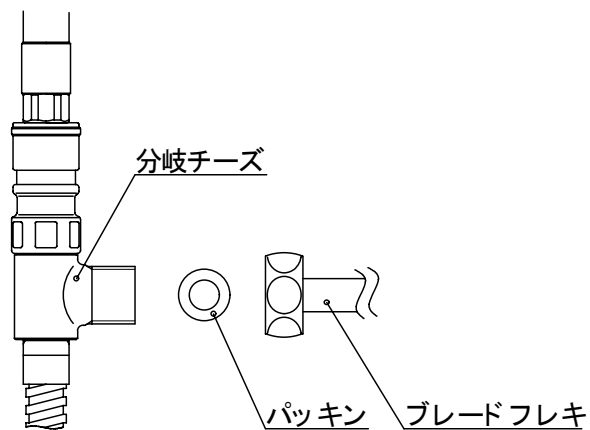


(6) ブレードフレキの取り付け

①電磁弁にブレードフレキを接続します。



②分岐チーズにブレードフレキを接続します。

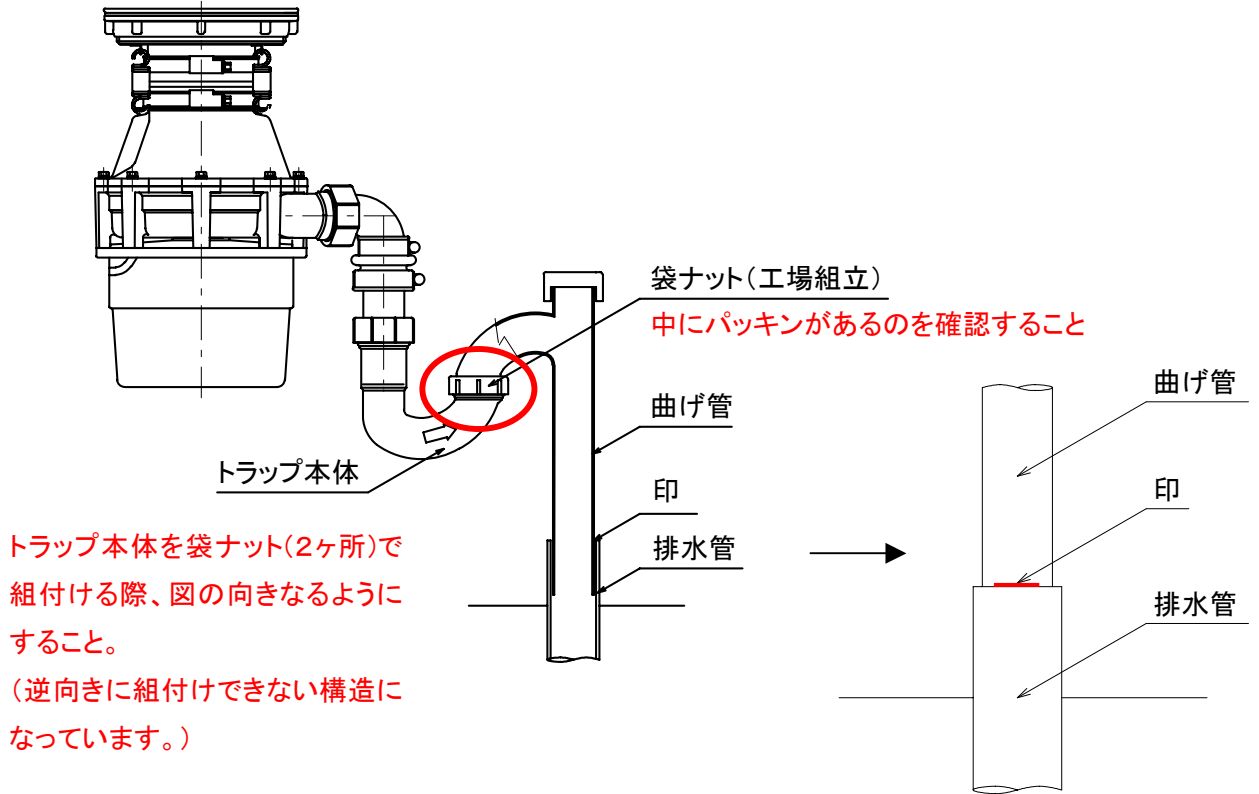


4. 5 トラップの取付け

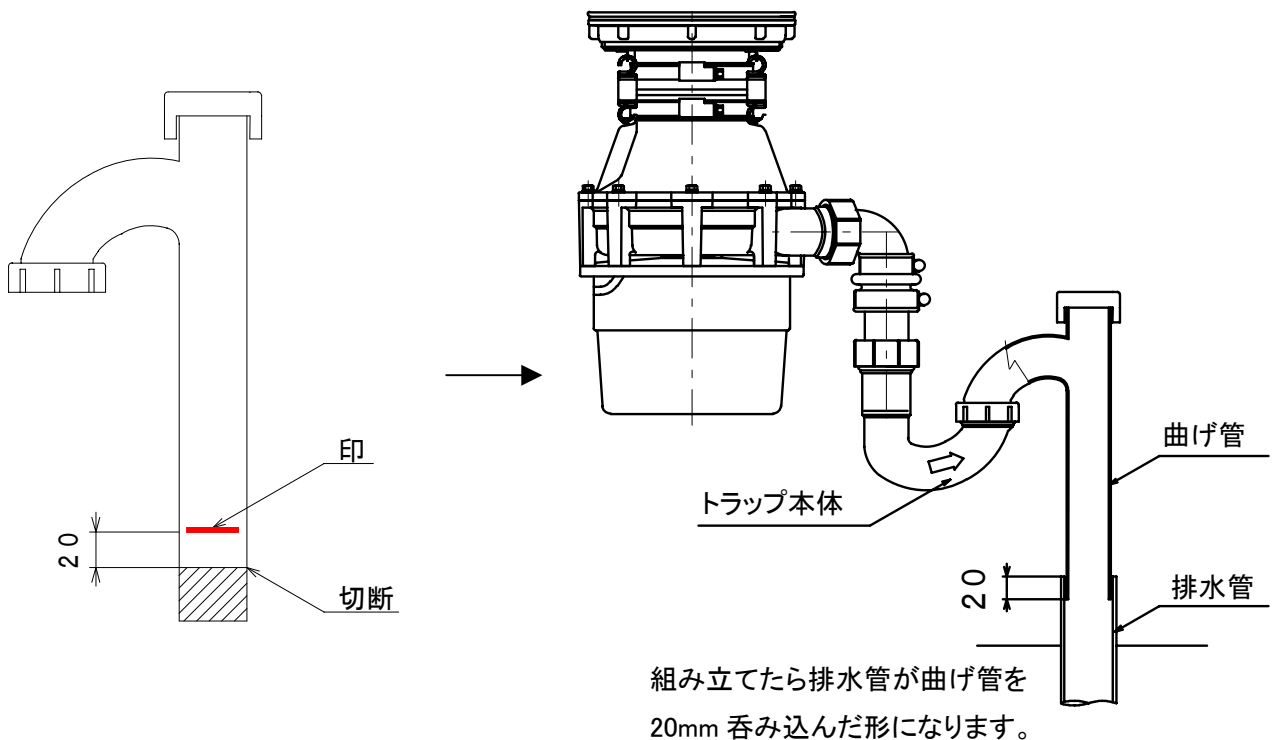
4. 5. 1 Sトラップの場合

①曲げ管の袋ナットの中にパッキンが入っていることを確認し、トラップを仮組みします。トラップの曲げ管の長さを調整するため、図のように曲げ管にペンで印をつけてください。

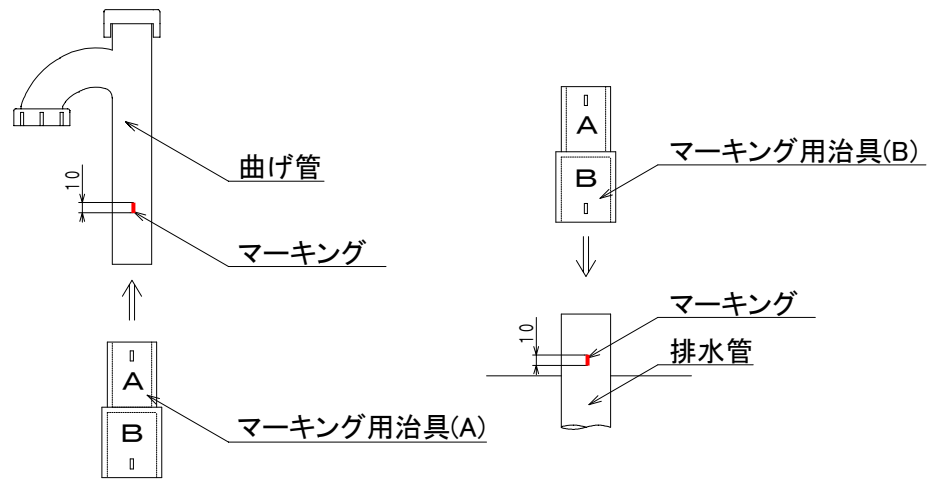
(色は何色でも可)



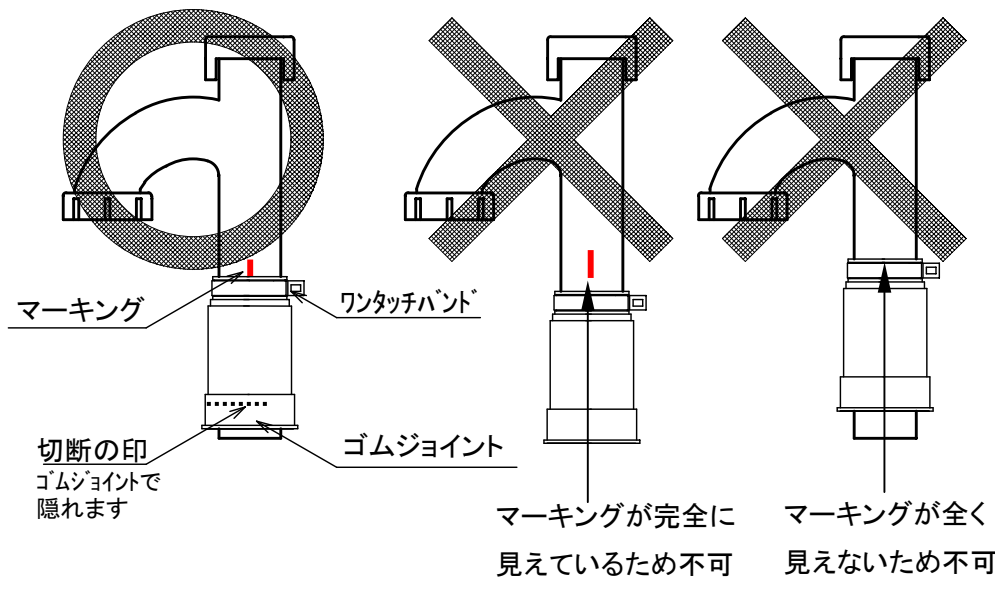
②曲げ管に印を付けた箇所から 20mm 残して切断してください。



③マーキング用治具(A)を用いてトラップ曲げ管にマーキングします。同様にマーキング治具(B)を用いて排水管にマーキングしてください。



① トラップ曲げ管のマーキング箇所が半分隠れるようにゴムジョイントを差し込み、ワンタッチバンドで締付けてください。マーキング全体が見えているものや全く見えないものは不可です。

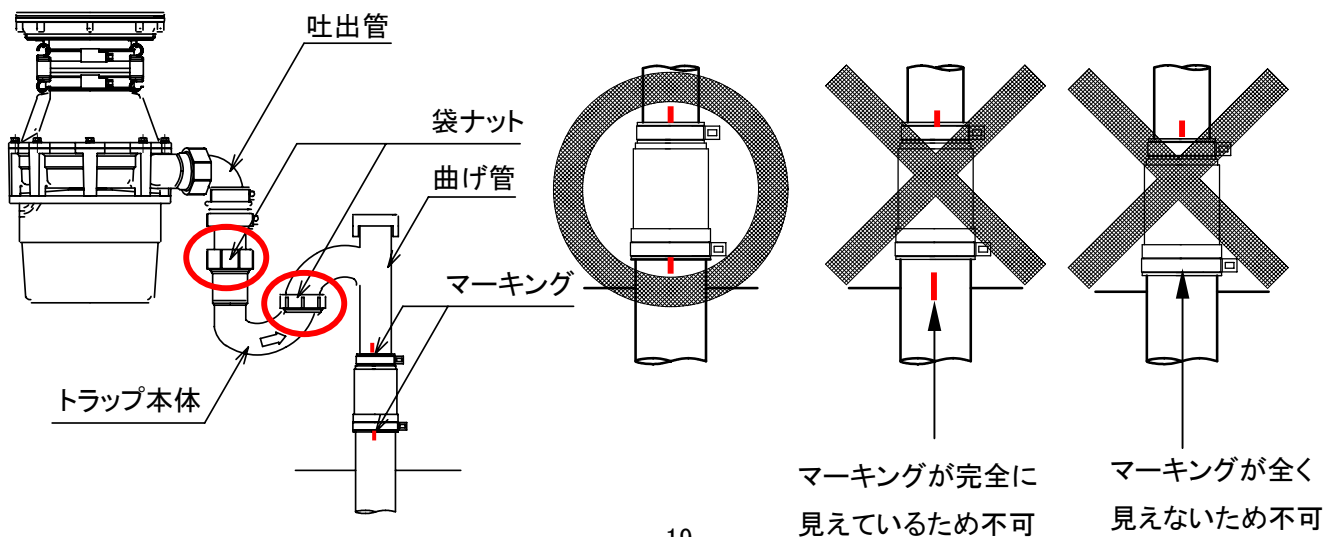


ワンタッチバンド
澤久工業株式会社製
CLIC R96-440、CLIC R96-545

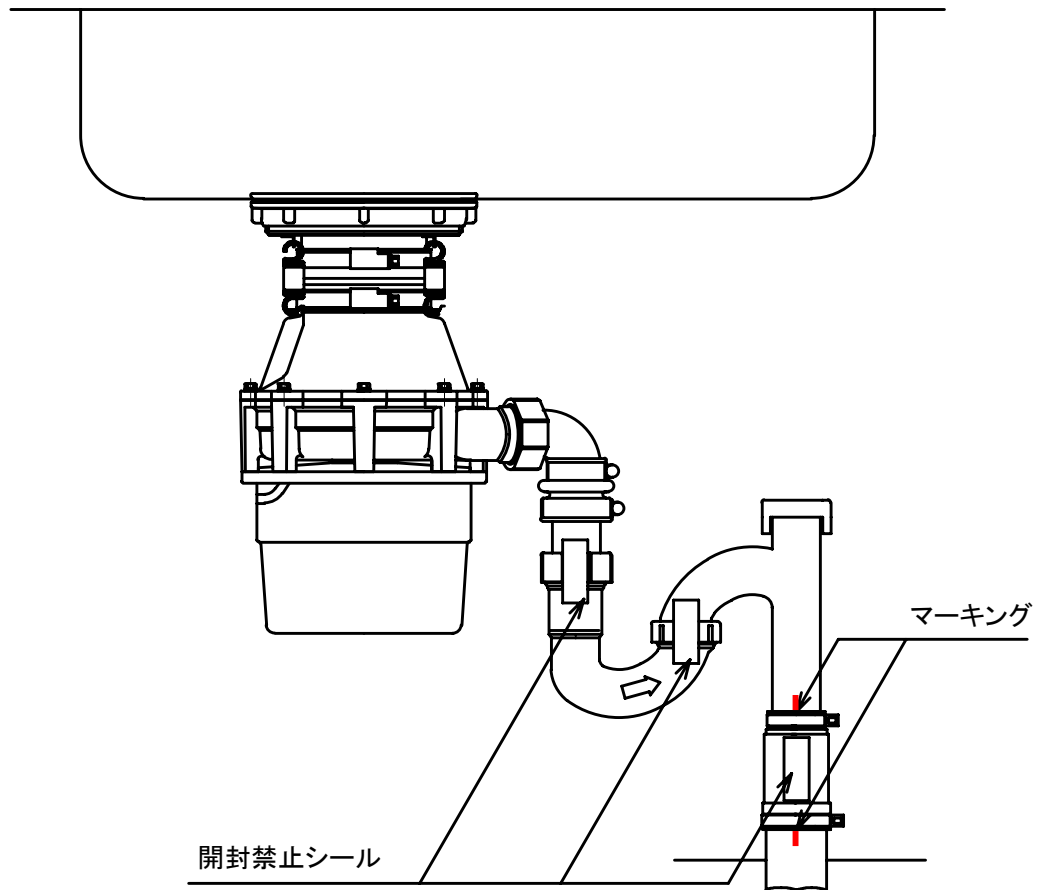


ゴムフレキ

② 排水管のマーキングが半分隠れるようにゴムジョイント部を排水管に差し込み、ワンタッチバンドで締付けてください。トラップ本体を吐出管・曲げ管に確実に差し込み、袋ナットを手締めで確実に締付けてください。



③ 袋ナットに開封禁止のシールを貼付けてください。



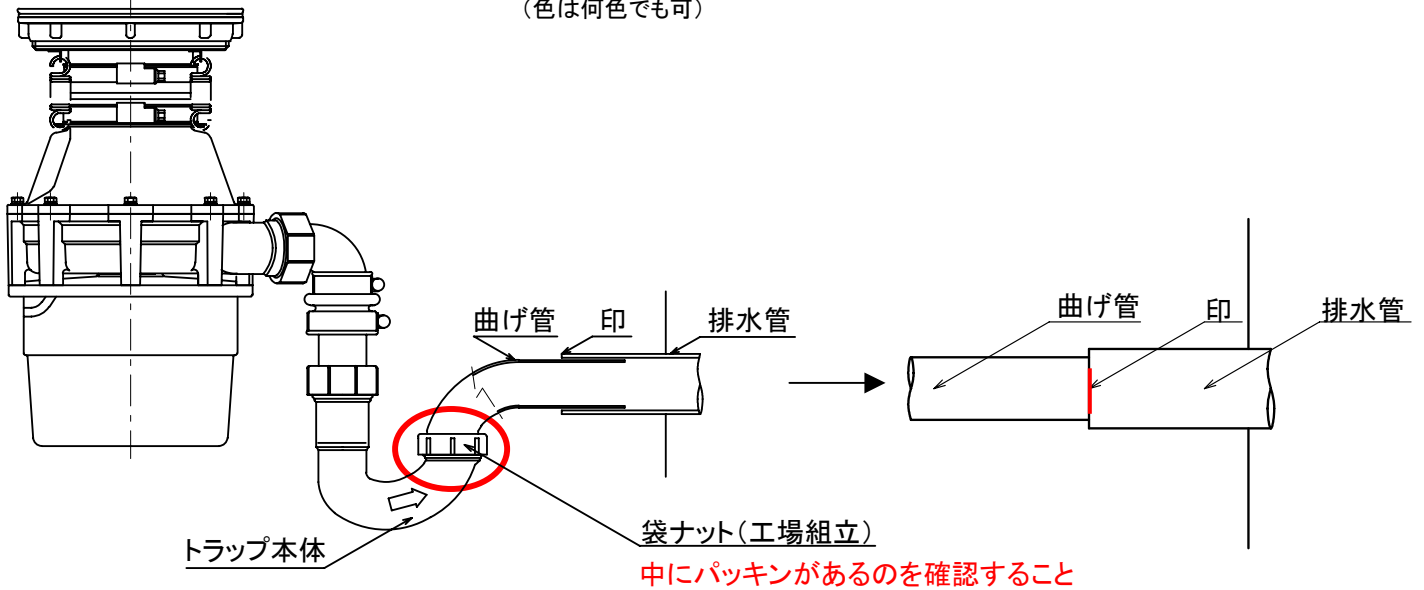
④ 以下を確認して作業を完了してください。

- トラップの曲げ管及び排水管のマーキングが正常であること。
- トラップの袋ナットに開封禁止シールを貼り付けていること。
- 切断した曲げ管の切れ端などのゴミが無いこと。

4. 5. 2 Pトラップの場合

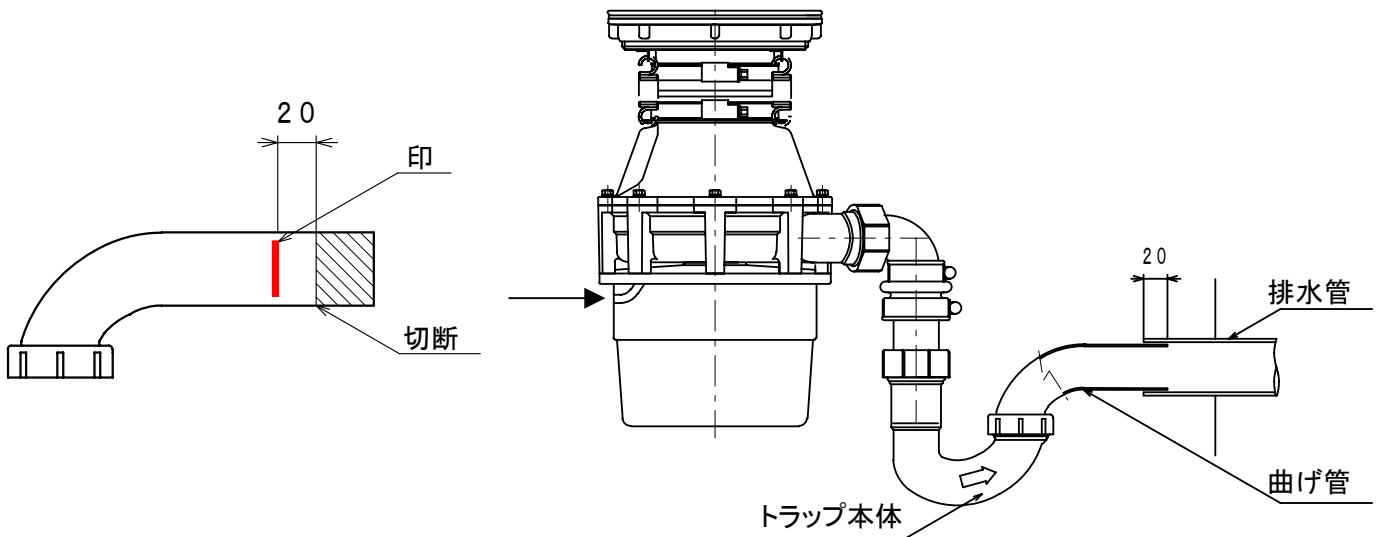
①曲げ管の袋ナットの中にパッキンが入っていることを確認し、トラップを仮組みします。トラップの曲げ管の長さを調整するため、図のように曲げ管にペンで印をつけてください。

(色は何色でも可)



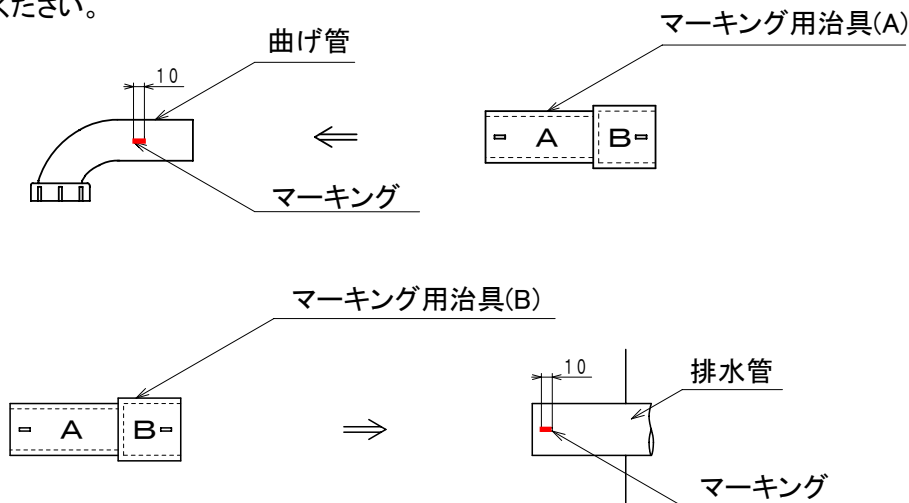
トラップ本体を袋ナット(2ヶ所)で組付ける際、図の向きなるようにすること。
(逆向きに組付けできない構造になっています。)

②曲げ管に印を付けた箇所から 20mm 残して切断してください。

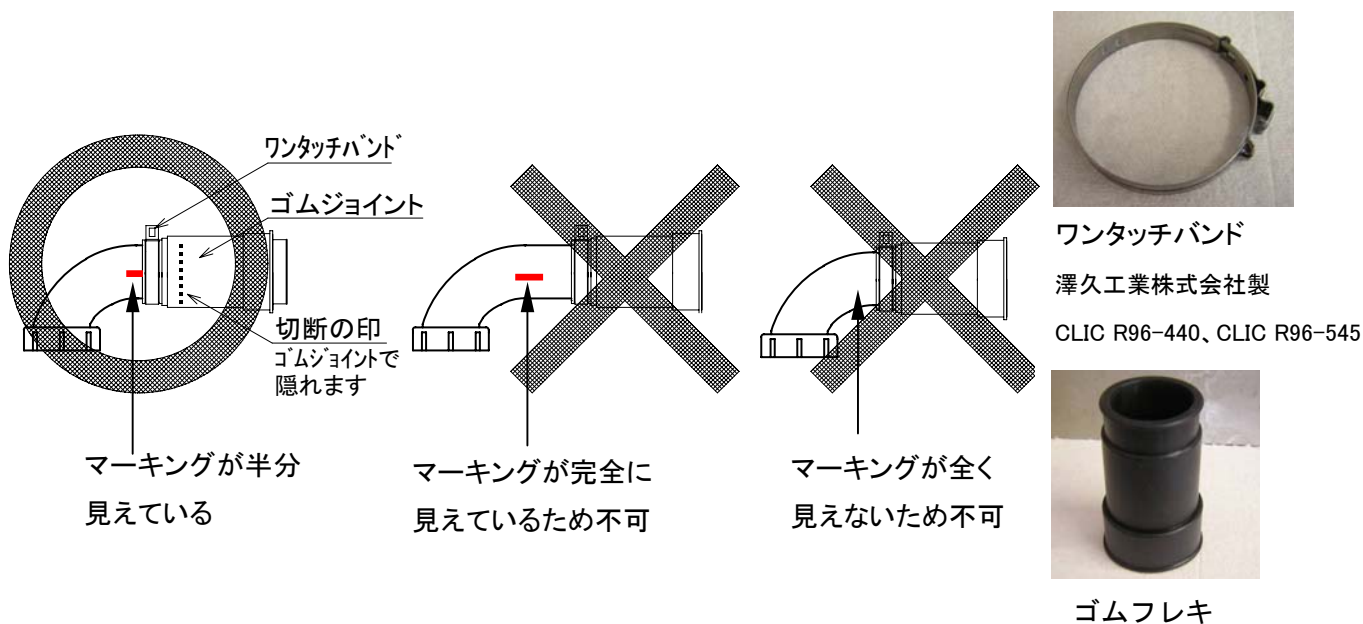


組み立てたら排水管が曲げ管を 20mm 呑み込んだ形になります。

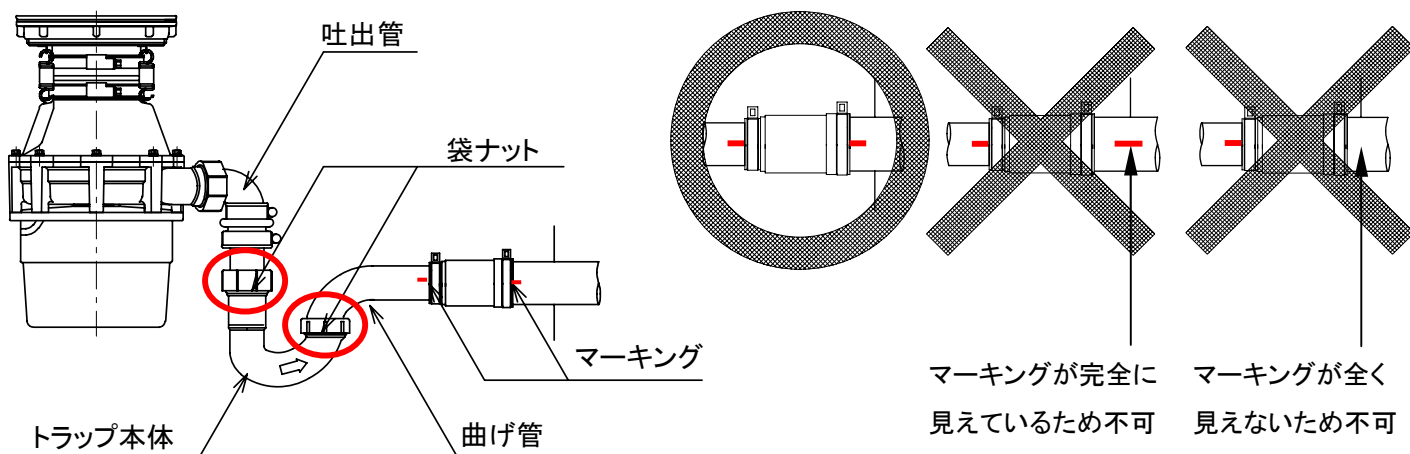
③マーキング用治具(A)を用いてトラップ曲げ管にマーキングします。同様にマーキング治具(B)を用いて排水管にマーキングしてください。



④トラップ曲げ管のマーキング箇所が半分隠れるようにゴムジョイントを差し込み、ワンタッチバンドを専用工具(ペンチ、プライヤでも可)で締付けてください。マーキング全体が見えているものや全く見えないものは不可です。

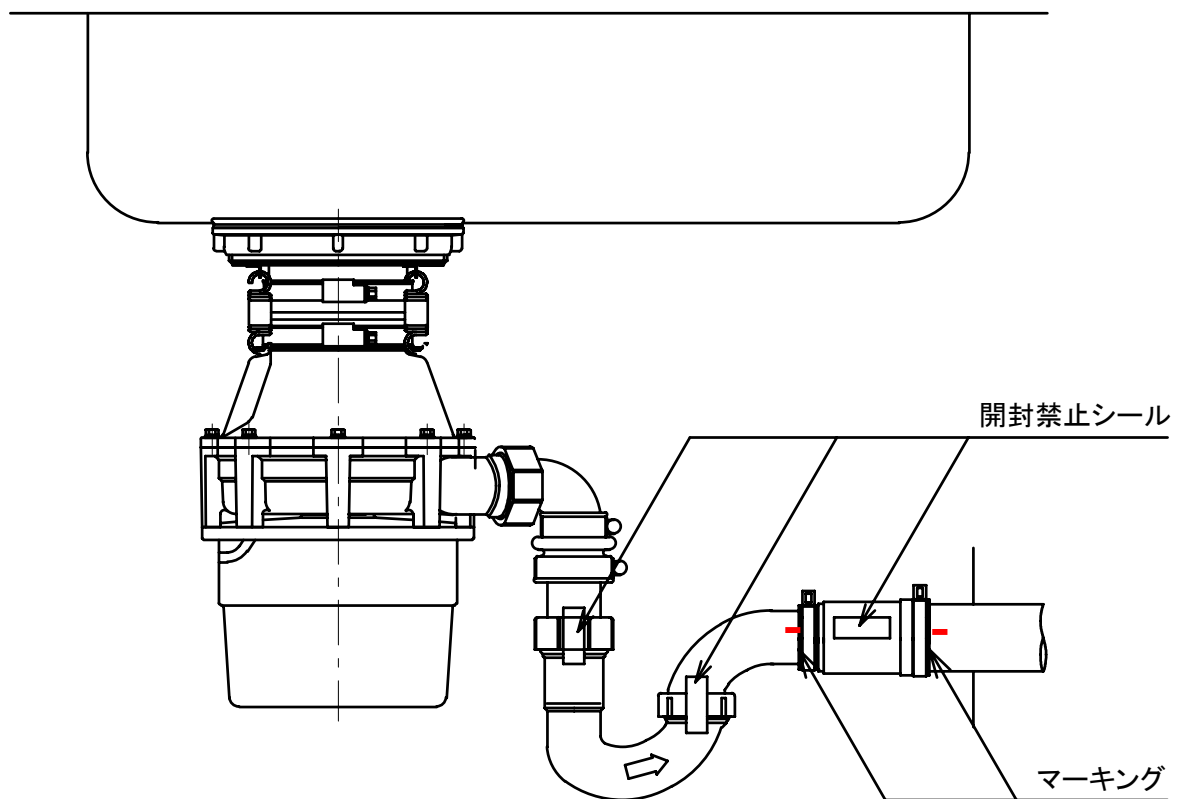


⑤排水管のマーキングが半分隠れるようにゴムジョイント部を排水管に差し込み、ワンタッチバンドで締付けてください。トラップ本体を吐出管・曲げ管に確実に差し込み、袋ナットを手締めで確実に締付けてください。



⑥袋ナット、ワンタッチバンドに開封禁止のシールを貼付けてください。

※開封禁止シールの貼付けはマーキングが隠れないようにしてください。



⑦以下を確認して作業を完了してください。

- トラップの曲げ管及び排水管のマーキングが正常であること。
- トラップの袋ナット、ワンタッチバンドに開封禁止シールを貼付けていること。
- 切断した曲げ管の切れ端などのゴミが無いこと。

4. 6 配線の接続

(1) センサーケーブルの接続

センサーケーブルとディスプレイ側から出ているケーブルを接続します。

※この時、センサーケーブルのA側がシンクフランジの「ON」マーク側、
B側が「洗」マーク側になっていることを確認してください。



(2) 電磁弁ケーブルの接続

電磁弁に接続したケーブルはモータカバー底の電磁弁用コンセントに接続してください。

(3) アース線の接続

電源プラグから出ているアース線は、アース付コンセントに接続してください。

(4) 電源プラグの接続

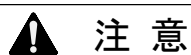
電源プラグをコンセントに接続してください。

注意) 周囲に干渉しないように配線してください。

5. 試運転

5. 1 試運転前の確認

- (1) ディスポーザ内部に異物が入っていないことを確認してください。
- (2) アース線が接続されていることを確認してください。
- (3) ロックナット、バンド、吐出管のボルト、トラップの締付ナットがしっかり締まっていることを確認してください。
- (4) 本体に傾き、緩み、がたつき等ないこと、破損、傷等がないことを確認してください。



工事が終わりましたら、必ず試運転を行ってください。この時、据付け、配管工事、配線工事が「据付説明書」通りになっているか確認のうえ実施してください。

5. 2 試運転方法

- (1) ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
アース線の接続前に電源プラグをコンセントに差し込みますと、感電の原因になります。
- (2) 次の方法で水漏れのないことを確認してください。
 - ①平ゴム等で排水口をふさぎシンクに10cmほど水を溜め5分以上保持する。
排水後、シンク接続部やトラップ接続部から水漏れが無いか確認する。
 - ②水を流しながらディスポーザを運転し、シンク接続部やトラップ接続部から水漏れが無いか確認する。

(3) 以下のことを確認してください。

操作項目	動作確認項目
①蓋を『OFF』の位置に入れる	運転しない。
②蓋スイッチの「△」印を「OFF」に合わせ、「ON」の位置まで回し、ディスポーザを運転させる	<ul style="list-style-type: none"> ・異常音、異常振動がない。 ・電子音「ピー」が鳴り、給水開始する。 ・給水開始後、2秒後にディスポーザが運転する ・ジェットフラッシュの水溜めの音が聞こえる。 ・ジェットフラッシュの水溜め時に電子音「ピピッ ピピッ …」が鳴る。 ・自動停止時に電子音「ピーピーピー」が鳴る。
③蓋スイッチの「△」印を「洗」に合わせ、フランジの「△」印と合わせるように右に回し、ディスポーザを運転させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェットフラッシュの水溜めが破碎室内の半分以上である。 ・ジェットフラッシュの水溜め時に電子音「ピピッ ピピッ …」が鳴る。 ・自動停止時に電子音「ピーピーピー」が鳴る。
④②の運転中に蓋を「OFF」の位置に回す。	ディスポーザと給水が停止する。
⑤②で運転開始前(電子音が鳴る前)に蓋を「OFF」の位置にする。	動作しない。
⑥③の運転中に蓋を「洗」の位置に回す。	ディスポーザと給水が停止する。
⑦③で運転開始前(電子音が鳴る前)に蓋を「洗」の位置にする	動作しない。

6. 片付け

設置工事が完了したら、以下を確認して作業を終了します。

- ・ シンク内の水滴を拭き取ること。
- ・ ディスポーザ、流量スイッチの梱包材やトラップを切断した切れ端などのゴミは、必ず持ち帰ること。
- ・ ウェスや養生シートなど、工具類も忘れず持ち帰ること。



テラル株式会社

本社 広島県福山市御幸町森脇230 〒720-0003 Tel.084-955-1111 Fax.084-955-5777
 東京支社 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル 〒112-0004
www.teral.net

東京支社

東京産業システム1課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-8101	FAX.03-3818-6798
東京産業システム2課			TEL.03-5805-1311	FAX.03-3818-6798
東京環境システム1課			TEL.03-3818-7800	FAX.03-3818-5031
東京環境システム2課			TEL.03-3818-7766	FAX.03-3818-5031
東京環境システム3課			TEL.03-3818-7800	FAX.03-3818-5031
東京環境システム4課			TEL.03-3818-7799	FAX.03-3818-5031
東京施工管理1課			TEL.03-3818-7764	FAX.03-5684-0218
市場開発課			TEL.03-3818-6846	FAX.03-3818-5031
ソリューション技術1課			TEL.03-6891-7800	FAX.03-3818-5031
ソリューション技術2課			TEL.03-6891-7800	FAX.03-3818-5031
ソリューション技術3課			TEL.03-6891-7800	FAX.03-3818-5031

東北支店

仙台営業所	仙台市宮城野区銀杏町39-25	〒983-0047	TEL.022-232-0115	FAX.022-238-9248
札幌営業所	札幌市中央区北11条西23丁目1-3	〒060-0011	TEL.011-644-2501	FAX.011-631-8998
北東北営業所	盛岡市津志田南2丁目12-27	〒020-0839	TEL.019-601-8818	FAX.019-601-8819
郡山営業所	郡山市島1丁目13-9	〒963-8034	TEL.024-922-5122	FAX.024-922-4226

北関東支店

大宮営業所	さいたま市見沼区大和田町2-1018-2	〒337-0053	TEL.048-681-7822	FAX.048-681-7082
新潟営業所	新潟市中央区山二ツ5丁目6-21	〒950-0922	TEL.025-287-5032	FAX.025-287-3719
長岡営業所	長岡市宮開3丁目1-21	〒940-2021	TEL.0258-29-1725	FAX.0258-29-2369
水戸営業所	水戸市白梅4丁目2-16	〒310-0804	TEL.029-224-8904	FAX.029-231-4044
土浦営業所	牛久市ひたち野西4丁目22-3 オーシャンパドラー フロアC	〒300-1206	TEL.029-870-2760	FAX.029-870-2761
宇都宮営業所	宇都宮市鶴田町3333番地18	〒320-0851	TEL.028-346-3400	FAX.028-346-9432
前橋営業所	前橋市元総社町84-3	〒371-0846	TEL.027-253-0262	FAX.027-253-0278

東京支店

城東第1・第2営業所	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-6751	FAX.03-3818-6763
城西第1・第2営業所			TEL.03-3818-7769	FAX.03-3818-6763
アクアシステム関東営業所			TEL.03-3818-6752	FAX.03-3818-6763
東京開発グループ			TEL.03-5684-0238	FAX.03-5684-0218
立川営業所	立川市幸町3丁目32-9	〒190-0002	TEL.042-536-2714	FAX.042-538-7080
千葉営業所	千葉市中央区今井町1493-4	〒260-0815	TEL.043-264-5252	FAX.043-226-7353
アクアシステム千葉営業所			TEL.043-264-7300	FAX.043-264-7332
横浜第1・第2営業所	横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25(テクノウェイブ100 10F)	〒221-0031	TEL.045-450-5351	FAX.045-450-5352

北陸支店

金沢営業所	金沢市松島2丁目18	〒920-0364	TEL.076-240-0350	FAX.076-240-0357
富山営業所	富山市田中町2丁目10-24	〒930-0985	TEL.076-433-2151	FAX.076-432-8234
福井営業所	福井市問屋町3丁目501番地(ウイング八田101号)	〒918-8231	TEL.0776-28-5361	FAX.0776-28-5362

中部支店

名古屋営業所	名古屋市中区伊勢山1-1-19(名古屋急送ビル 6F)	〒460-0026	TEL.052-339-0871	FAX.052-339-0895
名古屋環境システム課			TEL.052-339-0875	FAX.052-339-0895
名古屋産業システム課			TEL.052-339-0891	FAX.052-339-0895
産業システム開発課			TEL.052-339-0891	FAX.052-339-0895
アクアシステム中部営業所			TEL.052-332-6510	FAX.052-332-6513
静岡営業所	静岡市駿河区豊田3丁目2-15	〒422-8027	TEL.054-285-3201	FAX.054-284-1831
沼津営業所	沼津市若葉町3-10	〒410-0059	TEL.055-923-1377	FAX.055-923-3449
浜松営業所	浜松市東区丸塚町132-1	〒435-0046	TEL.053-463-1701	FAX.053-464-1818
岐阜営業所	岐阜市六条南3丁目7-11	〒500-8358	TEL.058-271-6651	FAX.058-274-7379

大阪支店

大阪営業所	大阪市西区靱本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F)	〒550-0004	TEL.06-7711-8882	FAX.06-7711-5554
アクアシステム近畿営業所			TEL.06-7711-8883	FAX.06-7711-5554
大阪開発チーム			TEL.06-7711-8887	FAX.06-7711-5554
大阪環境システム課			TEL.06-7711-8885	FAX.06-7711-5554
大阪施工管理課			TEL.06-7711-8885	FAX.06-7711-5554
大阪産業システム課			TEL.06-7711-8884	FAX.06-7711-5554
ソリューション技術大阪C			TEL.06-7711-8886	FAX.06-7711-5554
南大阪営業所	堺市北区百舌鳥梅町3丁目47-1(グレース中百舌鳥トキワ2A号室)	〒591-8032	TEL.072-253-4391	FAX.072-253-6966
滋賀営業所	守山市守山2丁目16-38-103	〒524-0022	TEL.077-583-3666	FAX.077-583-3685
京都営業所	京都市伏見区竹田中川原町359番地(TMKビル 1F)	〒612-8412	TEL.075-647-1550	FAX.075-647-1537
神戸営業所	神戸市中央区多聞通2丁目4-4(ブックローン神戸ビル 7F)	〒650-0015	TEL.078-382-1991	FAX.078-382-1993
姫路営業所	姫路市栗山町111	〒670-0954	TEL.079-281-5511	FAX.079-281-1487

中国支店

広島営業所	広島市西区三篠町3-12-21(第2ベルビイ三篠 1F)	〒733-0003	TEL.082-537-0660	FAX.082-537-0678
福山営業所	福山市御幸町森脇337-2	〒720-0003	TEL.084-961-0222	FAX.084-961-0211
米子営業所	米子市上福原5丁目1-50	〒683-0004	TEL.0859-32-2970	FAX.0859-32-2971
岡山営業所	岡山市北区上中野2丁目24-14	〒700-0972	TEL.086-241-4221	FAX.086-241-4230

四国支店

高松営業所	高松市東八ヶ町4-5	〒761-8054	TEL.087-867-4040	FAX.087-867-4042
松山営業所	松山市朝生田町2丁目1-33	〒790-0952	TEL.089-935-4335	FAX.089-935-4331

九州支店

福岡第1・第2営業所	福岡市博多区山王1丁目6-3	〒812-0015	TEL.092-474-7161	FAX.092-474-7167
北九州営業所	北九州市小倉北区中井5丁目11-13	〒803-0836	TEL.093-571-5731	FAX.093-591-0192
久留米営業所	久留米市山川追分1丁目4-24	〒839-0814	TEL.0942-88-5825	FAX.0942-88-5823
大分営業所	大分市仲西町1丁目10-15	〒870-0135	TEL.097-551-1857	FAX.097-552-0589
熊本営業所	熊本市東区上南郡2丁目7番12号	〒861-8010	TEL.096-380-8388	FAX.096-380-1795
アクアシステム九州営業所			TEL.096-388-6615	FAX.096-388-6616
長崎営業所	長崎市大橋町7-5(横山ビル 1F)	〒852-8134	TEL.095-848-2221	FAX.095-848-5137
宮崎営業所	宮崎市大字芳土870	〒880-0123	TEL.0985-39-1577	FAX.0985-39-1089
鹿児島営業所	鹿児島市荒田2丁目59-11	〒890-0054	TEL.099-253-4321	FAX.099-253-4325

●駐在所 長野、徳島、高知、山口、沖縄

修理・サービスのご利用は最寄りの支店・営業所へご連絡ください。

テラルテクノサービス株式会社